

卒業研究発表会について

以下の通り、卒業研究発表会を開催する。よく読んだ上で、準備を進めること。

日時：2015 年 2 月 5 日（木）**8:50 集合**（出欠をとる）

場所：豊洲校舎 教室棟 4 階

1 班：404 教室（Chair 加島先生）、2 班：405 教室（Chair 堀口先生）

3 班：406 教室（Chair 神澤先生）、4 班：407 教室（Chair 広瀬先生）

※ 班分けは、別資料を参照のこと

※ 交通機関の遅延の可能性も見込んで、十分に余裕を持って来ること。

（1）プレゼンテーションの進め方

PC を用いた**発表 10 分、質疑応答 4 分（持ち時間 14 分）**

どのような内容をプレゼンテーションスライドに記載するかは、指導教員とよく相談すること。

プレゼンテーションスライド構成例

表紙・・・研究テーマ，学籍番号，氏名，研究室名

1. 研究の背景

本研究課題を選択することになったきっかけ.

2. 研究の目的

何が問題でどこまで明らかにするのか.

関連研究，何が新規性か. 期待される有効性は何か.

3. 提案方法

どのような方法で問題を解決するのか.

4. 研究の方法

どのようなアプローチで研究を行ったか.

5. 提案手法の評価

どの点に関して，どうやって有効性を評価したか（理論的手法，実験的手法等）. 評価結果.

6. 考察

提案手法が既存技術に比べて，どの程度問題解決に対して有効であったか.

7. まとめ（最終ページ）

当初の研究目的をどこまで達成することができたか. 残された課題は何か.

最後に「ご清聴ありがとうございました！」

（2）発表資料の提出方法

2 月 4 日（金）23:59 までに「（3）共有フォルダ情報」で指定するフォルダにプレゼン用ファイルを提出する。ファイルは、Microsoft PowerPoint 2010 で実行可能なファイル、または Adobe PDF ファイルとする。それ以外のファイルを「持ち込み PC」で扱いたい場合は、（8）項を参照すること。

注意：提出フォルダに入れたはずのファイルが本番の教室 PC で開かないトラブルがたまに発生する。開かないファイルはサイズが 0 バイトになっていることが判明している。対策として、標準以外の特殊なテーマを使うのを避け、さらに、提出したのちファイルサイズが 0 バイトになっていないことを確認すること。

(3) 共有フォルダ情報

豊洲校舎の授業用フォルダ

[¥¥yshare.sic.shibaura-it.ac.jp¥¥ShareFolders](http://yshare.sic.shibaura-it.ac.jp/ShareFolders)

にアクセスして、所属する班のフォルダにプレゼンテーションファイルを各自提出する。

[¥2014¥豊洲卒業研究 - 3113300130¥提出用¥1 班](#)

．．．

[¥2014¥豊洲卒業研究 - 3113300130¥提出用¥4 班](#)

(4) 発表資料のファイル名

「学籍番号+氏名」の形でファイル名を付ける。例えば、学籍番号「AF10003」、氏名「豊洲太郎」の学生の場合、PowerPoint2010 のファイル名は、

[AF10003豊洲太郎.pptx](#) (アルファベットは大文字で)

一度提出したファイルは削除できません。ファイルを更新したい場合は、

[AF10003豊洲太郎ver1.pptx](#)

[AF10003豊洲太郎ver2.pptx](#)

というようにバージョン情報がわかる形でファイルを追加提出すること。

(5) 原稿の持ち込み不可

原稿（口頭発表のメモ）を読みながらの発表は厳禁。原稿は、紙はもちろんのこと、PC画面上に表示させることも含めて一切認めない。聴講者の方を向いて発表すること（プレゼンの基本）。

(6) 質疑応答のまとめ

発表時の質疑応答の内容を当日中に指導教員に提出すること。（他の人にメモを依頼してもよい）

(7) 入退室について

発表会途中の入退室は認めない。トイレ等は休憩時間に行うこと。

(8) 持ち込み PC によるプレゼンテーション

PowerPoint2010 あるいはPDF ファイル以外のファイルでプレゼンを行う場合、また、デモの都合上、特殊なPC 環境が必要な場合は、以下の条件を守れる場合に限って、PCの持ち込みを認める。

- 前もって各班のChairの許可をとる。
- 前日までに当該教室で持ち込みPCの事前テストをしておく。
- 万一の備えとして、教室設置のPCで発表できるように、通常通りの準備をしておく。本番で、持ち込みPCの操作に一度でも失敗したらすぐに教室設置のPCでのプレゼンに切り替える。

(9) その他の注意

- 発表会では、自分の発表だけに集中するのではなく、他の人の発表にも耳を傾けて積極的に質問やコメントをするよう心掛けること（質問者を指名する場合あり）。
- 例年、自分の研究に関わる基本的な背景や知識（専門用語など）について尋ねられても説明できない人を見かける。曖昧なところが残らないよう且頃議論し合うなどして準備すること。

(10) 評価について

卒研発表では、別紙の評価基準に基づき各班担当教員が評価し、成績を決める際の参考にする。

以上

通信工学科 卒業研究発表会用評価基準

学習・教育目標		F.1 技術的資料や報告書を作成し、効果的に発表・討論できる。				
評価項目		(1)研究の目的および目標が適切に示されている。	(2)研究の手法および成果が適切に示されている。	(3) プレゼンテーション資料が適切な内容と分量であり、図表や画像等データが効果的に用いられている。	(4)口頭での説明が分かり易い表現を用いて適切に論理が展開されており、聴衆が理解できる。	(5)質疑応答において質問者の質問する意味を理解した上で、適切な内容を回答できる。
評価点及び水準の説明	5	研究の目的および目標が十分適切に示されている。	研究の手法および成果が十分適切に示されている。	プレゼンテーション資料は十分適切な内容と分量であり、図表や画像等データが非常に効果的に用いられている。	口頭での説明が非常に分かり易い表現を用い、十分適切に論理が展開されており、聴衆が良く理解できる。	質問者の質問する意味を十分良く理解した上で、十分適切な内容を回答できる。
	4	中間	中間	中間	中間	中間
	3	研究の目的および目標が適切に示されている。	研究の手法および成果が適切に示されている。	プレゼンテーション資料は標準的な内容と分量であり、図表や画像等データが効果的に用いられている。	口頭での説明が標準的に分かり易い表現を用いて適切に論理が展開されており、聴衆が理解できる。	質問者の質問する意味を理解した上で、適切な内容を回答できる。
	2	中間	中間	中間	中間	中間
	1	研究の目的および目標が示されていない。	研究の手法および成果が示されていない。	プレゼンテーション資料の内容と分量が不適切であり、図表や画像等データが効果的に用いられていない。	口頭での説明が分かりにくく、論理展開が十分でなく、聴衆が理解できない。	質問者の質問する意味を理解できず、適切な内容を回答できない。
評価者		卒業研究発表会出席教員				